

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相生市看護専門学校建設工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県相生市旭二丁目95番1の一部	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年8月01日
敷地面積	4,709 m ²	作成者	小西 龍機
建築面積	1,456 m ²	確認日	2023年08月03日
延床面積	2,566 m ²	確認者	谷口 芳紀

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.4 </p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★☆☆ 60%: ★☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>70%</td> </tr> </table> <p>0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	78%	③上記+②以外の	70%	④上記+	70%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	78%									
③上記+②以外の	70%									
④上記+	70%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質
Q1 室内環境
Q1のスコア= 3.0
音環境 3.0 温熱環境 2.2 光・視環境 3.3 空気質環境 3.9
Q2 サービス性能
Q2のスコア= 3.2
機能性 2.4 耐用性 3.4 対応性 4.2
Q3 室外環境 (敷地内)
Q3のスコア= 2.4
生物環境 2.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.0
LR 環境負荷低減性
LR1 エネルギー
LR1のスコア= 4.4
建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備システ 5.0 効率的 3.0
LR2 資源・マテリアル
LR2のスコア= 3.1
水資源 3.4 非再生材料の 3.0 汚染物質 3.3
LR3 敷地外環境
LR3のスコア= 3.3
地球温暖化 4.1 地域環境 2.8 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F★★☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境 2.5%≤ [昼光率] 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 給水HIVP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。 0.1≤[壁長さ比率] <0.3	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPIm=0.53。 [BEI][BEIm] = 0.53。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率70%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される